

2018年NICAM開発者会議 アジェンダ

2018年10月9日(火)～10日(水)

東京大学玉原国際セミナーハウス

群馬県沼田市上発知町玉原高原 <http://tambara.ms.u-tokyo.ac.jp/>

主要な議題：

今後の開発のタイムフレーム

ポスト京他プロジェクト対応

コアなユーザー向けのチュートリアル：エアロゾル入り実験, NICOCO, 等

10月9日(火)

14:00-15:30

佐藤 正樹(AORI) NICAM開発の現状と課題

八代 尚(RIKEN) NICAM.18

八代 尚(RIKEN) ポスト京におけるNICAMの評価状況

寺崎 康児(RIKEN) NICAM-LETKFシステムの更新: 全球28km解像度での平成30年7月豪雨事例実験

中野 満寿男(JAMSTEC) NEXRAを用いた準リアルタイム予測の紹介

那須野 智江(JAMSTEC) YMCおよび観測連携と今後

16:00-18:00

小玉 知央(JAMSTEC) HighResMIP、とその先

澁谷 亮輔(JAMSTEC) Project DYAMONDの初期結果比較

大野 知紀(JAMSTEC) モデル開発(乱流、力学コア他)

大野 知紀(JAMSTEC) 鉛直超高解像格子を用いた放射対流平衡実験による上層雲量のSST応答の解析

伊藤 純至(AORI) チュートリアル設定に沿った実事例計算の紹介：台風、爆弾低気圧、やませ

建部 洋晶(JAMSTEC) CMIP6実験現状報告と海洋混合パラメタリゼーションの実装

滝川 雅之(JAMSTEC) NICAM-Chemの気相反応過程に関する報告

芳村 圭(AORI/IIS) 陸面・河川

<夕食> 18:00～ 20:00

20:00-22:00

- 石山 尊浩(AORI) Super El Niño 年(1997/2015 年)における Pacific Meridional Mode とインド洋の SST が与える北太平洋の熱帯低気圧活動の差異
- 森井 洋(AORI) SST とモンスーンの関係
- 児玉 真一(AORI) 台風 21 号と地形の影響
- 竹島 滉(IIS) マッピングテーブル生成アルゴリズム
- 三浦 裕亮(東大 地惑) 正 20 面体格子上的 B-grid 浅水波の実装と実験結果
- 西川 雄輝(AORI) 高解像度数値モデルに対応可能な地形表現スキーム
- 打田 純也(AORI) 領域 NICAM の適用例: 衛星データを用いての地表面日射量の再現性と予測の可能性

10 月 10 日(水)

9:30-12:00

- 山下 陽介(JAMSTEC) 中層大気 NICAM の構想
- 五籾 大輔(NIES) エアロゾルモデリング NICAM-Chem/SPRINTARS
- 丹羽 洋介(NIES) NICAM-TM 4D-Var の開発と利用研究について
- 高野 雄紀(AORI) NICAM-isotope を用いた熱帯降水特性と降水同位体比の解析
- 清木 達也(JAMSTEC) マイクロ波放射計を用いた陸面モデルの検証 (マツシロと J-Simulator)
- Woosub Roh (AORI) Evaluations of super-cooled water clouds in NICAM using Joint-simulator
- 千喜良 稔(AORI) グレーズーンに対応した積雲対流スキーム,
- 千喜良 稔(AORI) 完新世初期・中期の実験

<昼食> 12:30~ 13:30

13:30-15:00

- 宮川 知己(AORI) Chikira スキームを入れた感度実験の報告
- 山田 洋平(JAMSTEC) HighResMIP の出力を用いた台風の構造の解像度依存
- 末松 環(北大) NICAM-AMIP 実験での MJO の再現性 東進速度に着目した解析
- 久保川 陽呂鎮(AORI) NICOCO を用いた 2012 年 Arctic Cyclone の研究
- 高須賀 大輔(AORI) MJO の発生領域の差異と海面水温分布との関係/NICAM16 チュートリアル
- 八代 尚(RIKEN) NICAM-COCO の使い方 NICAM-COCO の使い方

15:30 玉原国際セミナーハウス出発